

「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区①

①北海道 富良野市

富良野オムカレー推進協議会

- 富良野産の多種多様な食材を利用できる富良野オムカレーを、これまでの景観に加えた観光資源として確立。
- 地元食材の使用とふらの牛乳をつけるなどの提供スタイルにこだわったルールを明確化し、食メニューを地域ブランド化。毎年約8万食を販売。
- 小中学校やスーパーでのレシピカード配布等により、地域に根ざした食文化を醸成。



富良野オムカレー



イベントへの出展



一般家庭向けレシピカード

③岩手県 盛岡市

三陸に仕事を！プロジェクト

- 復旧期の津波被災地における女性向けの一時的な地域雇用を創出するため、漁網を使用したミサンガを製作、販売。
- 地元マスコミ企業を中心に立ち上げ、最盛期には約300人の女性が参加。累計で約1億円の給金を被災者に支給。
- 次の職業への移行のための研修を行いつつ、ミサンガ事業を縮小。最新冷凍技術を導入した「浜の番屋料理」の加工販売等に着手。



漁網を使用したミサンガの製作



ミサンガ完成品



広報ポスター

②北海道 標津町

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会

- 都市住民に対し、酪農生産者宅へのホームステイや水産加工、郷土料理づくりなど多様な体験プログラムを提供。
- 毎年約2,000人が体験プログラムに参加。来訪者による地元食材の評価の高まりを受け、食メニューの開発や鮭節等商品開発にもつながる。
- 水産物の高度な衛生管理の取組をPR(安全・安心な水産物の付加価値を向上)。



酪農家との共同体験



漁業生産現場の見学



秋鮭加工体験

④宮城県 仙台市

東北 食のカ プロジェクト

- 生産者と飲食店がダイレクトに取引・流通を行い、販路を拡大。
- 継続性のあるネットワークの確立に向け、外食をとりまく企業等を囲い込みながら月例勉強会、商談会を実施。
- 仙台を中心に、行政・外食・生産者が一体となった海産物等の物販やPRイベントを開催。



居酒屋と鮮魚店の連携



漁業者と飲食店の合同イベント



PRイベント

「ディスカバー^{むら}農山漁村の宝」選定地区②

⑤茨城県 つくば市

しづか 宍塚の自然と歴史の会

- 関東平野有数の里山の植生管理、在来植物保全のための草刈り、ビオトープ整備などの環境保全活動を実施。
- 豊かな自然環境や歴史的遺産を活用した観察会等を毎年80回以上開催。地元小中学校等が参加。
- 米オーナー制度により、谷津田の耕作を維持。



雑木林の植生管理



田植え体験



タカの生息する地域の宍塚米

⑥東京都 板橋区

ハッピーロード大山商店街振興組合

- 全国ふる里ふれあいショップ「とれたて村」が、全国16の自治体と契約し、農産品・加工品を都心で販売。
- 商店街と農山漁村が連携し、都市ユーザーの視点からのアドバイスや訪問ツアーを産地が受ける一方、生産者が都心を訪問し、児童生徒の食育実施や産地の修学旅行生のふる里宣伝など社会活動を展開。



とれたて村



生産者イベントの開催



産地訪問ツアー

⑦山梨県 北社市

えがおつなげて

- 耕作放棄地の開墾から、農作物の栽培、収穫までの一連の作業を、企業と連携して実施。
- 10社の企業と連携。企業毎に特徴ある農地の利用(社員研修、顧客の体験ツアー、商品開発等)を行う「企業ファーム」を展開。
- 現在までに3ha以上の耕作放棄地を開墾・再生。



開墾前の耕作放棄地



開墾作業



田植え

⑧富山県 富山市

おおながたに 大長谷村づくり協議会

- 都市住民による「ながたん農援隊」が山菜やキノコの収穫、有機野菜作り等の里山体験を実施。
- 炭焼きや輪かんじき作り等、伝統文化も継承。
- 登録された隊員は100名超。二地域居住やクラインガルテンを利用。星空ガイド、調理技術等、異業種のノウハウも地域に導入。



山菜の勉強会



隊員による野菜作り



炭焼き

「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区③

⑨石川県 金沢市

金沢大地 / アジア農業 / 金沢農業

- 米、麦、大豆、蕎麦、野菜等を有機栽培。経営面積337haの日本最大規模の有機農業経営体。
- 伝統製法にこだわった調味料、豆腐、納豆、スイーツ等、100品目超の加工商品をインターネットや直営店で販売。世界農業遺産(GIAHS)認定を契機に更なるブランド化を推進。
- 市民出資により太陽光発電システムを導入、売電収益の一部により耕作放棄地を再生。



有機大豆のほ場



加工商品



耕作放棄地再生後、有機蕎麦の収穫

⑩三重県 多気町

せいわの里

- 地元の女性が中心となって、農村レストランと体験工房・加工施設を拠点に地域活性化。年間約6万人が来店。
- 地元食材の加工品(豆腐、味噌等)を販売。学校給食や老人用弁当を納入し、地産地消と食育の循環を確立。
- 20~80歳代の男女が厨房や畑で共に働き、世代を超えた交流を促進。



農村レストラン遠景



農村レストラン店内



加工商品

⑩愛知県 南知多町

しのじま 篠島お魚の学校

- 特産品であるえび、しらす、わかめ等を活用した新商品を製造・販売。南知多町で初の6次産業化認定を取得。
- 魚料理体験による魚食普及活動を実施。家族のつと魚貝を都市住民に調理方法を紹介しながら販売。
- 漁業体験や小学生の宿泊体験による交流促進。



しらす加工体験



魚料理体験



大アサリ

⑪大阪府 泉南市

ハートランド

- 株式会社が障害者雇用促進を目的とした特例子会社を設立することによる「障害者を主人公」とした農業ビジネスモデルを確立。
- 障害者の職域として「仕事のすそ野の広い農業」に着目。延べ約100名/週の障害者が作業参加。
- サラダほうれん草など葉菜類を水耕栽培。操業7年目を迎え、販路を確保。更に、高付加価値商品の加工・販売にも取組み。



ほうれん草の水耕栽培



収穫



コンテナ清掃

「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区④

⑬奈良県 奈良市

植村牧場

- 障害者14名(うち住み込み9名)、高齢者4名を常時雇用して牧場を経営。障害者が主戦力。
- 奈良県で最も古い牧場。創業当時の木造茅葺の牛舎で約30頭の乳牛を飼育し、近隣に牛乳を配達。
- 自家生乳でアイスクリーム等を製造、販売。県、大学、近隣農家と共同で「奈良漬と大和やさいを使ったアイスクリーム」を開発。



牛舎



乳牛の餌やり



アイスクリーム製品

⑮島根県 邑南町

邑南町観光協会

- 観光協会が地元産品を使ったイタリアン・レストランを運営。地産地消率は95%。
- このレストランを拠点に、都市在住者を対象に、農業から料理、店舗経営までを一貫して行える「食の人材育成」を実施。
- シェフ、パティシエなど含め38名のUIターン者を誘致。新規定住者の目線で地域の魅力を掘り起こし。



地産地消レストラン



お菓子づくり教室



「食の人材育成」の様子

⑭和歌山県 那智勝浦町

色川地域振興推進委員会

- 新規定住希望者や農業実習希望者などの受入を、9集落が地域ぐるみで一体的に対応。地域毎に定住世話人を配置。
- 田舎暮らしに関心のある方に2泊3日の民泊、農業体験を提供。ホームページや地域内新聞等による情報発信。
- これまでに約180人が新規定住。



体験・交流施設を建築



農業体験交流



移住者の子どもが活躍する運動会

⑯広島県 庄原市

粟田川流域農地・水・環境を守る会

- 大阪や広島の消費者グループと、田植交流会や収穫感謝祭を実施。田植太鼓や田植歌を歌うお年寄りとも交流。
- 地元および都市部の子どもの対象にアイガモ農法による農業体験等を実施。
- 品質にこだわった米作り、安全性の可視化、消費者への食育などを行い、ブランド化を確立。



春の田植交流会



秋の収穫感謝祭



消費者への食育

「ディスカバー^{むら}農山漁村の宝」選定地区⑤

⑰山口県 萩市

ふるさと萩食品協同組合

- 萩の金太郎(ヒメジ)等、地元の低利用魚種の利用価値を発見し、魅力をメディアを通じアピール。
- マーケットインによる類似商品のない加工品の開発。
- 大手卸売業者との連携等による首都圏等への販路拡大。



品評会への出展



開発商品



デパートでのPR

⑱愛媛県 伊予市

されだに 佐礼谷地域農地・水・環境保全会

- 住民自治組織による、雑木林の整備、河川のヨシ刈り等の環境美化活動を行うとともに、これを地域外の人々の体験活動として交流にも活用。
- 遊休農地を活用した芋掘り等の体験活動の開催。
- 有志の女子会による地域産品を活用した柚子胡椒等の商品開発。



雑木林の整備



河川のヨシ刈り



遊休農地を活用した体験活動

⑲高知県 本山町

本山町特産品ブランド化推進協議会

- 地元棚田米(ヒノヒカリ)を、海洋深層水を利用した特徴ある旨みの開発と、商品にストーリー性を持たせた「土佐天空の郷」としてブランド化。
- 濁酒や焼酎等、加工品の開発に発展。
- 棚田を核とした田んぼアートなどによるファンイベントの開催。



ブランド米の生産(深層水の散布)



米焼酎の開発



ファンイベント

⑳長崎県 雲仙市

もりやま 農事組合法人守山女性部加工組合

- 女性グループの発意により、郷土の食文化を守り継ぐため、希少な伝統野菜「雲仙こぶ高菜」の栽培と加工品の開発、販売に取組み。
- 地域の子どもを対象とした栽培、収穫、調理体験の実施。
- スローフード国際協会と連携し、世界へ情報発信。



雲仙こぶ高菜



栽培体験



イタリアでの販売風景

「ディスカバー農山漁村の宝」選定地区⑥

②1 長崎県 壱岐市

「島のめぐみ観光農園」プロジェクトチーム

- 遊休農地を活かした有機農業への取り組み。
- 収穫物や地場海産物を利用した加工品の開発とインターネットを活用した販売。「鯛茶漬け」が国際線の機内食に採択。
- 離島ならではの全島における循環型有機栽培への取り組み。



有機農業



野菜サラダパックの通信販売



加工品(鯛茶漬け)

②2 宮崎県 高原町

農事組合法人はなどう

- 中山間地域において生産農家の高齢化が進む中で、農地を集積し、米と麦を生産する集落営農組合を設立。現在、6次産業化に取り組む法人に発展。
- 県内の企業と連携し、米麦を加工したオンリーワンの商品開発を行い、直売所で販売。直売所は集落住民の手作りで建設。
- 古民家レストランの経営や女性部による人材育成、食育活動も展開。



直売所



女性部による活動



古民家レストラン

②3 沖縄県 今帰仁村

農業生産法人今帰仁アグー

- 伝統ある琉球豚の飼育と加工食品の販売。
- 視察の受入や講演会を通じた琉球在来種の普及活動を実施。
- 在来牛、山羊等も飼育。農畜産物や食の多様性を保全するとともに、在来家畜を利用した伝統ある儀礼行事を通じて集落の絆を強化。



自社工房での加工



農業高校生の視察受入



在来牛